

(別記)

## 令和3年度北見市農業再生協議会（北見市地域水田農業推進協議会）

### 水田収益力強化ビジョン

#### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、稲作や麦類、馬鈴しょ、てん菜、豆類を中心とした畑作物と、玉ねぎを中心とした野菜・園芸作物など多様な品目が作付けされ、それぞれにおいて道内有数の主要産地となっている。しかし、これまで推進してきた麦類・馬鈴しょ・てん菜・豆類の4年輪作体系の定着が不十分であり、収量の減少や土壌病害虫の発生ほ場の拡大が大きな問題となっている。

また、農家戸数の減少や農業者の高齢化、担い手不足により農地の維持などが課題となっている。

#### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域において、交付金を活用し主食用米と比較して面積当たりの所得が高い作物への転作を図っている。

転作においては、需要が増加している野菜の安定生産や消費者のニーズに対応した多様な品目の作付、湿害対策に有効な排水改善を講じることにより高品質で安定した生産による産地ブランド力の向上、地域に適応した品種の選定等を行うことによる収益力強化を進める。

#### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

転作等により水田は有効利用されているが、将来的な水田の在り方を必要に応じて、関係者間で協議していく。

また、水田の利用状況を確認するとともに、水田としての活用が見込まれない農地については、畑地化の支援を情報提供する。

#### 4 作物ごとの取組方針等

##### (1) 主食用米

基幹作物の一つとして消費者から求められる「良質、良味米」の計画生産及び安定供給を維持し、「もち米団地」としての地位向上を図る。

新品種の導入や栽培技術、適期防除、適期刈取等の効率的な作業体系の確立と減肥料、減農薬による特別栽培などのクリーン安心・安全な米づくりの推進や、既存機械施設の有効活用など、生産コスト低減の取組を推進する。

##### (2) 非主食用米

###### ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれることから、水田を維持するため、飼料用米の生産拡大を図る。また、土壌診断などにより適正施肥を行い、生産コスト低減の取組を推進する。

###### イ 米粉用米

主食用米の需要減が見込まれることから、米粉用米の生産を行う。また、土壌診断などにより適正施肥を行い、生産コスト低減の取組を推進する。

オ 加工用米

北海道産もち米全体のシェア確保に向けて、加工ユーザーの需要確保が憂慮される状況にあるため、当地域においても令和3年度の緊急対策として、加工用米への転作を行うこととする。令和4年度以降は、米の需給動向により再考する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦類

麦類は当地域で、もっとも広く作付けされている作物である。用途別に実需者ニーズに応じた品質の高い麦の安定供給を図るため、新品種の導入や栽培技術の向上、輪作体系による土壌病害虫の発生防止に努める。

イ 豆類

豆類の作付けは、土壌病害虫の発生防止や地力向上に大きな効果があることから、豆類を含めた4輪作体系への移行を図る。

ウ 飼料作物

現行の栽培面積を維持する。

(4) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。また、生産性の向上・安定化を図るため、排水対策等の基本技術の励行を推進する。

(5) 高収益作物

ア たまねぎ

当地域は、全国一の生産地となっている。しかし、紅色根腐病などの土壌病害虫の発生や降雨の影響による品質低下・収量減少が問題となっていることから、収量増加・品質向上の栽培技術の確立を図る。

イ 野菜

年間の価格変動が大きい品目もあることから、地理的条件や気象条件に適した品目選択と安定生産が可能な体制整備を図る。

ウ 果樹・花き・花木

地域の実需者のニーズに対応する品種の作付け、生産量の確保を行うため現行の作付面積を維持する。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	404.23ha	373.41ha	373.41ha
備蓄米	—	—	—
飼料用米	1.88ha	1.88ha	1.88ha
米粉用米	—	—	—
新市場開拓用米	—	—	—
WCS用稲	—	—	—
加工用米	0.00ha	19.77ha	0.00ha
麦	144.28ha	163.02ha	165.00ha
大豆	27.10ha	32.08ha	33.00ha
飼料作物	64.50ha	63.04ha	63.00ha
・子実用とうもろこし	0.00ha	0.00ha	0.00ha
そば	0.21ha	0.00ha	0.24ha
なたね	—	—	—
高収益作物	230.76ha	216.17ha	225.44ha
・野菜	229.31ha	214.71ha	230.14ha
・花き・花木	1.27ha	1.27ha	2.38ha
・果樹	0.18ha	0.18ha	0.21ha
・その他の高収益作物	0.00ha	0.00ha	0.00ha
その他	99.27ha	66.54ha	105.03ha
・てん菜	60.46ha	57.09ha	77.00ha
・小豆	15.83ha	4.61ha	18.00ha
・菜豆	0.70ha	0.16ha	0.73ha
・緑肥	22.28ha	4.68ha	11.30ha
畑地化	8.53ha	0.64ha	0.64ha

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績） 令和2年度実績		目標値 令和5年度目標	
1	野菜類 (馬鈴しょを除く)	野菜類 (馬鈴しょを除く) 作付助成	作付面積 助成面積	2020年度	186.35ha 184.83ha	2023年度	187.00ha 187.00ha
2	馬鈴しょ (でん粉原料用品種を除く)	馬鈴しょ作付助成	作付面積 助成面積	2020年度	43.11ha 43.11ha	2023年度	43.14ha 43.14ha
3	小豆	小豆の生産性 向上助成	菌核病及び褐斑病防除面積 密植栽培 単収 作付面積	2020年度	15.83ha 0.00ha 204kg/10a 15.83ha	2023年度	16.00ha 2.00ha 257kg/10a 18.00ha
4	菜豆 (金時、手亡、花豆)	菜豆の生産性 向上助成	菌核病及び褐斑病防除面積 単収 作付面積	2020年度	0.07ha 208kg/10a 0.70ha	2023年度	0.10ha 199kg/10a 0.73ha
5	てん菜	てん菜の生産性 向上助成	直播栽培取組面積 混合剤による褐斑病防除面積 堆肥施用取組面積 作付面積	2020年度	41.87ha 17.89ha 0.00ha 60.46ha	2023年度	46.00ha 28.00ha 3.00ha 77.00ha
6	そば	そば作付助成	作付面積	2020年度	0.21ha	2023年度	0.24ha
7	果樹	果樹作付助成	作付面積	2020年度	0.18ha	2023年度	0.21ha
8	花き・花木	花き・花木 作付助成	作付面積	2020年度	2.35ha	2023年度	2.38ha
9	緑肥作物	輪作補完 作付助成	取組面積	2020年度	11.00ha	2023年度	11.30ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。